

ユニマックス エンドポケット

再使用禁止

JUXF0043

【禁忌・禁止】

使用方法

- ・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

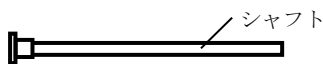
1. 形状

全体図

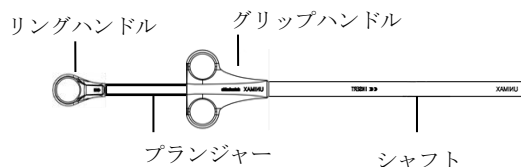
1)-1 セパレートタイプA



1)-2 セパレートタイプB

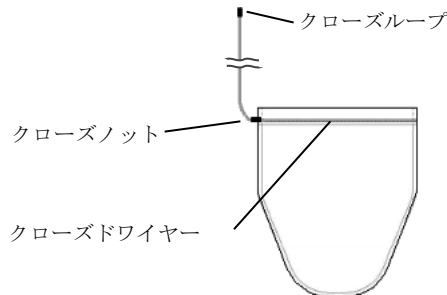


2) ハンドルタイプ

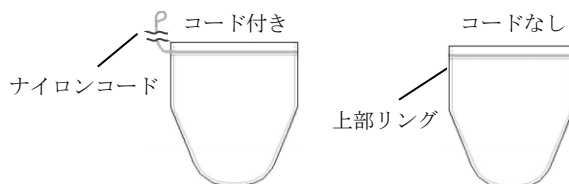


袋拡張時

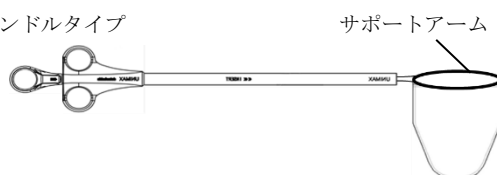
1)-1 セパレートタイプA



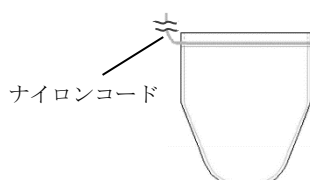
1)-2 セパレートタイプB



2) ハンドルタイプ



バッグ分離時



2. 原材料

- ※バッグ: 熱可塑性ポリウレタン又はポリアミド
- ※クローズドワイヤー: ポリテトラフルオロエチレン
- ※クローズノット: ステンレス鋼、エチレン・酢酸ビニル共重合体
- ※クローズループ: ステンレス鋼、エチレン・酢酸ビニル共重合体
- ※ナイロンコード: ポリアミド
- ※上部リング: シリコンゴム
- ※サポートアーム: ステンレス鋼、ポリフッ化ビニリデン

※クローズドワイヤーのワイヤー部にはニッケル・チタン合金を使用している。

3. 原理

内視鏡下手術において、カニユーレポートから腹腔内に挿入し、分離した組織をバッグに収納して体外に取り出す。

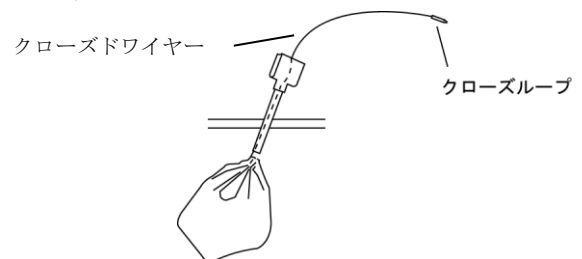
【使用目的又は効果】

内視鏡下の手術で腹腔内に挿入する器具で、分離した組織の分散を防ぎ、組織を隔離・収納するために用いる。本品は滅菌済みであり、単回使用である。

【使用方法等】

[セパレートタイプAを使用する場合]

1. 本品をカニユーレポートに挿入する。
注) 本品をカニユーレポートに挿入する際にはブランジャーを押さないこと。
2. シャフトを保持し、ブランジャーを止まるところまでしっかりと押し込む。バッグが腹腔内に留置され、バッグが開く。
3. シャフトとブランジャーをカニユーレポートから取り出す。
4. 分離した組織、臓器又は結石を適切な器具を用いてバッグに入れる。バッグ開口径より大きな組織等は小さく切断してからバッグに入れる。
5. 別々のカニユーレポートから把持鉗子を二本挿入し、一方の鉗子でクローズノットを把持し、もう一方の鉗子でクローズループを引いてバッグ開口部を完全に閉じる。
6. バッグを取り出す際は、把持鉗子を用いてクローズループをカニユーレの外に出し、クローズドワイヤーを引いてバッグをカニユーレポートに近づけ、カニユーレとバッグを同時に抜くことで容易に取り出せる。
注) バッグが大きすぎて取り出せないときは、切開部を拡張させること。



[セパレートタイプB (コード付き) を使用する場合]

1. 本品をカニユーレポートに挿入する。
2. 鉗子を用いてシャフト先端に露出したバッグを把持し、シャフトから慎重に引き出す。ナイロンコードが完全に引き出されたことを確認すること。
3. 分離した組織、臓器又は結石を適切な器具を用いてバッグに入れる。バッグ開口径より大きな組織等は小さく切断してからバッグに入れる。
4. ナイロンコードの端を鉗子で把持し、バッグ開口部が完全に閉じるまでナイロンコードを引く。
5. バッグを取り出す際は、ナイロンコードを引いてバッグをカニユーレポートに近づけ、カニユーレとバッグを同時に抜くことで容易に取り出せる。
注) バッグが大きすぎて取り出せないときは、切開部を拡張させること。

[セパレートタイプB（コードなし）を使用する場合]

1. 本品をカニューレポートに挿入する。
2. 鉗子を用いてシャフト先端に露出したバッグを把持し、シャフトから慎重に引き出す。
3. 分離した組織、臓器又は結石を適切な器具を用いてバッグに入れる。バッグ開口径より大きな組織等は小さく切断してからバッグに入れる。
4. バッグを取り出す際は、バッグの上部リングを把持した鉗子をカニューレポートに引き込み、カニューレとバッグを同時に抜くことで容易に取り出せる。

注) バッグが大きすぎて取り出せないときは、切開部を拡張させること。

[ハンドルタイプを使用する場合]

1. 本品をカニューレポートに挿入する。
- 注) 本品をカニューレポートに挿入する際にはリングハンドルを押さないこと。
2. グリップハンドルを保持し、プランジャーが止まる場所までしっかりとリングハンドルを押し込む。シャフト先端からバッグが押し出され、バッグ開口部が開く。
 3. 分離した組織、臓器又は結石を適切な器具を用いてバッグに入れる。バッグ開口径より大きな組織は、小さく切断してからバッグに入れる。
 4. リングハンドルを引いて、バッグ開口部を完全に閉じる。
 5. リングハンドルを引き抜くと、プランジャーに続いてナイロンコードが現れる。
 6. グリップハンドルを引き抜く。
 7. バッグを取り出す際は、ナイロンコードを引いてバッグをカニューレポートに近づけ、カニューレとバッグを同時に抜くことで容易に取り出せる。

注) バッグが大きすぎて取り出せないときは、切開部を拡張させること。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- ・バッグを損傷させる恐れのある、鋭利な器具、切開装置、電気メス、レーザー装置を接触させないこと。
- ・バッグを体外に取り出すときはバッグの開口部が完全に密封されていることを確認すること。[採取した組織などが漏出する恐れがあるため]

※ 使用後は、製品に欠損等がないことを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管の条件]

- ・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保存すること。

[有効期間]

- ・包装の使用期限欄を参照 [自己認証による]。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

株式会社ジェイエスエス

大阪府中央区道修町1-6-7 TEL: 06-6222-3751

■外国製造業者

ユニマックスメディカルシステムズ

(Unimax Medical Systems Inc.)

台湾